

令和2年12月

PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

日頃より PIARC ならび PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS の送付にあわせて、日本国内委員会よりお知らせさせていただきます。今号では、昨年開催された第 26 回世界道路会議アブダビ大会報告の特集が組まれています。本大会の開会式、基調講演、大臣セッション、技術セッション等、閉会式までの詳細、及び PIARC 特別賞を受賞した論文の概要について報告されています。日本からは前田道路株式会社技術研究所ご所属の 3 名による論文「環境に優しい常温アスファルト混合物の開発」が PIARC 特別賞を受賞されており、その概要についても掲載されています (57 ページ)。ぜひご覧ください。

1. ROUTES/ROADS 384/385 号 巻頭記事



す。同会議は世界各国の道路関係者が一同に会し、新しい知見・技術の紹介や各国が抱える課題について意見交換を行う重要な場となっています。本会議は Connecting Cultures, Enabling Economies をテーマとして開催され、34 カ国の大臣等はじめ 131 カ国から約 4 千人（うち日本から 200 名余り）が参加、大臣セッションをはじめ数多くの討議セッションが行われ活発な議論が行われました。

もう一つのトピックとしては、PIARC コロナウェビナーの実施があります。新型コロナウイルスの世界的感染の終息の見通しが立たない中で、世界各国の道路関係機関は様々な側面からの影響を受け対策を講じているところです。PIARC では、3 月に新型コロナウイルス感染拡大に対応すべくコロナ対策チーム（レスポンスチーム）を立ち上げ、感染拡大に伴う経済的・社会的な影響及びその対応に関し、PIARC 会員各国間で知識と実践を共有することを目的にウェビナー「PIARC and COVID-19」を開催しました。

道路及び道路交通分野においてウェビナーを通じて得られた教訓を取りまとめた簡易レポートが P69-P74 に掲載されていますので、ぜひご一読ください。あわせて各国の現状、課題、様々な取り組みを掲載したウェビナーでの発表資料が PIARC ウェブサイトから入手できます。

PIARC ウェブサイト

コロナウェビナーに関するページ



【今号の特集】

第 26 回世界道路会議アブダビ大会報告

【今号の発行にあたって】

PIARC では、道路分野の最も権威ある国際フォーラムとして、4 年に 1 度世界道路会議を実施していま

2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ PIARC 活動報告 —4 頁
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介 —12 頁
- ✓ コートジボワール共和国国内委員会の紹介 —14 頁

【今号の特集】

- ✓ 第26回世界道路会議アブダビ大会報告 —17頁
- ・PIARC 特別賞受賞者の論文概要
- 1. インテリジェントコンパクトパーキングシステムのトラック用駐車場管理への適用 —52頁
- 2. 環境に優しい常温アスファルト混合物の開発—57頁
- 3. 交通システムの経済的便益 —61頁
- 4. フォース橋における緊急時のコミュニケーション手段 —65頁

3. PIARC テクニカルレポートのご紹介

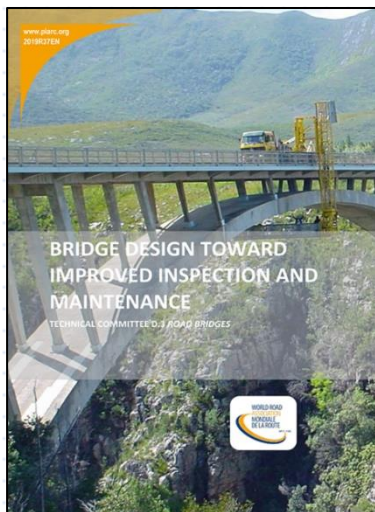
2016-2019のタームにおいて作成された技術レポートをご紹介します。

【レポート名】

Bridge Design Toward Improved Inspection and Maintenance

【レポート概要】

過去の橋梁設計手法では、将来の維持管理を考慮し設計するというコンセプトよりも、構造上の安全性や使用性を満足させることに重点が置かれる傾向がありました。しかしこのような設計手法は、多くの場合



将来の橋梁維持管理コストを増大させる要因となっており、昨今では将来の点検等維持管理がより簡易に実施できるよう設計時点から考慮することが求められています。本レポートでは、各国の橋梁設計コンセプト、将来の維持管理を容易にする設計やその構造について15カ国の事例を収集し、とりまとめています。

【レポート名】

Implementation of National Safe System Policies

【レポート概要】

国連等で採用されているセーフシステム・アプローチは、道路利用者はミスを犯す前提のもと全ての道路関係者が責任を共有し死傷者数の削減を目指すというものです。本レポートでは、インフラの安全性に焦点を当て、セーフシステム・アプローチの採用状況、安全なインフラ構築実現への課題、道路安全に関するKPI、主要な安全施

策等に関し各国に調査を依頼し、31カ国から得た回答結果をとりまとめられています。なおこれらレポートはPIARCウェブサイトから入手できます。

PIARCウェブサイト

テクニカルレポート紹介ページ



4. 第16回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会

第16回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会（通称：カルガリー冬期大会）が、2022年2月8日から11日にかけて、「Adapting to a changing World」の大会テーマのもとカナダ・カルガリー市にて開催されます。現在PIARCでは論文アブストラクトを募集しています。提出期限は2021年1月31日に延長されました。詳細につきましては、別紙の募集案内をご確認ください。

PIARC 日本会員のご関係者の皆様におかれましても、奮ってご応募いただければ幸いです。何卒宜しくお願い致します。

PIARC の活動に関するご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局（日本道路協会）

安藤： ando@road.or.jp

PIARC 本部事務局

武内： jun.takeuchi@piarc.org

本年はPIARC活動をはじめ、日本道路協会国際活動に関する事業全体において試練の1年となりました。コロナウィルス世界的感染の早期終息、そして2021年が少しでも明るい年となることを願いつつ、皆様が良い年を迎えられることを心より祈願いたしております。

本年も大変お世話になりました。2021年もご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

PIARC 日本国内委員会事務局